

# 大腿骨近位部骨折に対する早期手術ならびに術後即時荷重が可能な手術が術後の移動能力におよぼす影響についての検討

## 1. 研究の対象

2021年1月1日から2021年12月31日の間に、当院で治療したすべての大腿骨近位部骨折患者さん

## 2. 研究目的・方法

大腿骨近位部(股関節)骨折の治療目標は骨折によって失われた移動能力を再び獲得することですが、そのために最近では受傷した後早期に手術を行うことや手術した翌日から手術した足に100%の体重をかけて歩行訓練を行えるような手術が推奨されています。受傷後早期に手術した患者さんとそうでない患者さんで退院する時の移動能力に違いがあるかどうか、また手術した翌日から手術した翌日から手術した足に100%の体重をかけて歩行訓練を行うことができた患者さんとできなかった患者さんで当院退院時の移動能力に違いがあるかどうかについて大腿骨近位部骨折の治療を受けた患者さんの診療記録を振り返ることによって明らかにしたいと思います。

受傷後早期に手術を行うことや手術翌日から手術した翌日から手術した足に100%の体重をかけて歩行訓練を行えるような手術が移動能力の獲得に繋がっていることが明らかになれば、このことをめざした医療の提供に意義を見いだすことができます。

研究の対象となる患者さんは2021年に当院で治療を受けた大腿骨近位部骨折の患者さんで、研究が許可された日から電子カルテより情報の収集を行い、2023年3月末日までに終了する予定です。

## 3. 研究に用いる情報の種類

大腿骨近位部骨折で治療を受けた患者さんの診療記録から次の情報を収集します。

情報: 年齢、性、受傷日・受傷時間、当院受診日・受診時間、転院・退院日、手術開始時間、麻酔方法、術後即時荷重の可否、地域連携診療計画日常生活機能評価の受傷前と転院時の移動能力ならびに総合機能評価の日常生活状況(歩行の項目)

患者氏名、患者番号から診療記録を探索しますが、収集したデータからは患者氏名、患者番号を削除して保存・管理します。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒438-8550 磐田市大久保5 1 2 - 3 磐田市立総合病院 整形外科

電話 0538-38-5000

研究責任者 磐田市立総合病院 整形外科 山崎薫